



21 特集 眼鏡で幸せになる 100の方法

- 22 1 東京スカバラダイスオーケストラ 谷中 敦さんの幸せ眼鏡ライフ
- 28 2 オシャレと褒められる
- 30 3 知的に見えると褒められる
- 32 4 リーディンググラスをポジティブに
- 33 5 コンパクトに持ち運べる
- 34 6 自分に合ったスタイリストを見つける 7 眼鏡の試着をたくさんする
- 8 定期的に度数を測定する習慣を
- 35 9 正しい掛け位置を知ったら似合う眼鏡が増えた
- 10 自分のPDを知れば似合うフレームが選びやすい
- 11 少し冒險していつもとは異なる眼鏡にチャレンジしてみる
- 36 12 カラフルな眼鏡で新しい私と
- 43 13 自分に合ったグラスコードを選ぶ
- 44 14 クリアレンズの跳ね上げを上手に使う
- 45 15 眼鏡がズレにくくて幸せ
- 46 16 ひとつのブランドを愛する人は幸せ度が高い!?
- 49 17 いつも眼鏡が綺麗
- 50 18 スペシャルな眼鏡を掛ける
- 52 19 オリジンを所有する喜び
- 53 20 うっとりする高級素材眼鏡を掛ける
- 54 21 デイリーにサングラスを掛ける
- 55 22 調光レンズの便利さを知る
- 56 23-40 眼鏡デザイナーの幸せ眼鏡エピソード
- 60 41 フォックスでリフトアップ 42 度付きのときのメイクテクを知る
- 43 パーソナルカラーを知ると効果抜群
- 44 まるでメイクをしているような眼鏡をゲット
- 61 45 フルハンドメイド眼鏡を所有する
- 62 46 リモート映えする眼鏡のポイントを知る
- 63 47 サステナブルな眼鏡を選ぶ 48 眼鏡で支援する
- 49 ヴァーチャルで試着する
- 64 50 アンチウイルスコートを使う 51 眩しさ対策を完全に
- 65 52 低反射コートを使う 53 防曇コートを使う
- 66 54-61 業界人の幸せ眼鏡エピソード
- 70 62 眼鏡YouTubeを楽しむ
- 72 63 ゆっくり眼鏡本を読む
- 74 64 アンティーク&ヴィンテージという選択
- 75 65 唯一無二のオーダー眼鏡 66 完全オーダーレンズの世界へ
- 76 67 ハッピーになる小物を選ぶ
- 77 68 新ブランドを誰よりも早く掛ける
- 78 69 話題のコラボ眼鏡で注目を
- 80 70 一石二鳥のクリップオンをもつ
- 81 71 キャンプや釣りには偏向レンズ 72 海にピッタリな眼鏡をもつ
- 82 73 趣味の世界から眼鏡を楽しむ
- 84 74-85 ショップスタッフの幸せ眼鏡エピソード
- 88 86 マスクの色と眼鏡の相性を知る 87 男性は眼鏡で女性を引き寄せる
- 89 88 めがね絵本で遊ぶ
- 90 89 ヘルメットとバイクに合わせた眼鏡を買う
- 91 90 レンズや跳ね上げでドライブを快適に
- 92 91 ロマンを掛ける
- 93 92 曇り止めを使う 93 工具をもつ
- 96 94 キッズはとびっきり可愛く
- 97 95 こどもに眼鏡が必要になったときオンソロで掛ける
- 98 96 トレンドを掛ける
- 99 97 ロービジョンの人々へ新たな世界の扉を開く
- 100 98 シチュエーションで眼鏡をコーディネートする
- 101 99 古い眼鏡の活用法を知る
- 102 100 いつも笑顔で

- 103 MODE OPTIQUE PICK UPブランド
- 113 MODE OPTIQUE PICK UPショップ
- 116 JUST WEAR IT
- 126 問い合わせリスト
- 127 バックナンバー

Cover Design

Base

Cover Photo

Kazuhiro Fujita

©WORLD PHOTO PRESS
(禁・無断転載)
令和3年7月15日発行

●今号で掲載している眼鏡フレーム・サングラスに関する問い合わせは、126ページの【メーカー & ショップ問い合わせ先リスト】をご覧ください。

●掲載されている商品の価格は、2021年5月現在の調べによるものです。また基本的に消費税(10%)を含んだ税込み価格の表示です。



「roar」のウェリントン、モードな着こなしにも好相性。ヨウジヤマモトのロングシャツ、中に着用したTシャツ以上、すべて参考商品。ヨウジヤマモトプレスルーム ☎03-5463-1500
ネックレスは本人私物

1.

東京スカパラダイスオーケストラ

谷中敦さんの幸せ眼鏡ライフ

東京スカパラダイスオーケストラの谷中敦さん。そのダンディな出で立ちにより、大所帯であるバンドのなかでも、ひと際存在感を放っている。じつはオフステージではつねにサングラスを愛用しているという彼の、私物アイウェアによるスタイリングをご堪能あれ。

Photo/藤田一浩 Kazuhiro Fujita Hair&Make-up/高草木 剛 Go Takakusagi
Styling/吉本知嗣 Satoshi Yoshimoto Text/伊藤美玲 Mirei Ito



愛用のバリトンサックスに掛かっているのは、King Gnuの常田大希さんからプレゼントしてもらったという、常田さん×MYKITAのコラボモデル「MYKITA for Daiki Tsuneta LENNARD 291」。最近お気に入りの1本だ。

5.

コンパクトに持ち運べる

持ち運ぶことの多い、サングラスやリーディンググラス。利便性を重視するなら折り畳めるフォールディングタイプが賢い選択だ。小さく、かつ薄くなるから胸ポケットやミニバッグにも難なく収納が可能に。手軽に持ち出せ、より身近なアイテムとなってくれる。



ROAV GALAXY

2016年にアメリカ・LAにてスタートしたサングラスブランド。フレームには、薄さ0.6mmながら強度に優れるステンレススチールを採用。さらに極小のスクリュースヒンジを搭載することで、折り畳み時の厚みは約8mmという薄さを実現！専用ケースに収納すれば、パンツのポケットにも余裕で収まる。フレームの重さも15gと超軽量で、ストレスのない掛け心地も◎。レンズには傷防止や耐擦砕加工も。価格2万2000円〜@SeaChange Inc.



「手元が見づらくなくなった」と感じたら、早めに老眼鏡を掛けた方が慣れるのが早い。これを機に下のトラクションプロダクションズのような、遊び心あるデザインに挑戦するのも面白い。初めて眼鏡を掛けるなら、マルクスTのように軽くて掛け心地のよいものを選ぶのがポイント。単焦点レンズではなく、度数が進んだら変わる累進レンズを入れる手もある。今はレンズが進化しており、ペルソールのようなベーシックなサイズでも取り入れられる。リーディングで新しい眼鏡に挑戦するのも幸せのひとつ。

TRACTION PRODUCTIONS
レンズ直径33mmという小ぶりな丸眼鏡は、緑のリムがポップでチョココンと鼻ののせれば様になる。レンズが小さくても長いブリッジやヨロイで顔幅に合わせやすい。「CAMILLE Col.VERT」価格4万2900円 @LDJロジスティクス



Persol

メタルリムにアセテートを合わせたクラシカルなスクエア。程よい天地幅で累進レンズにも対応できる。(右)「0P02473V Col.1080」、(左)「0P02473V Col.513」価格各3万1900円 @ルルクスオティカジャパン カスタマーサービス



MARKUS T

「ハーフムーン」のシェイプはリーディングにぴったり。フロントには極細のチタンワイヤー、テンプルにはハイテック樹脂のTMIを採用しており、驚くほど軽くて掛けやすい。「D2072 Col.215/026」価格5万8300円 @ブリッジ



4. リーディングをポジティブに

「最近、手元の字が読みにくい。遂に老眼鏡か……」なんて、ネガティブになることなかれ。リーディンググラスは新しい眼鏡に挑戦するチャンスだ。



上の眼鏡Persol「PO2480V Col.1107」価格3万1900円
 ルックスオティカジャパン カスタマーサービス、中央のサングラスLOWERCASE「Steeplechase Col.Saffron」価格3万9600円
 プリンク外苑前、下のサングラスXIT「S002 Col.015」価格4万9500円
 トウランドット、ギンガムチェックワンピース価格1万8700円
 メゾンスペシャルメゾンスペシャル 青山店 ☎03-6451-1660、中に着たメッシュトップス価格1万8150円
 シモーネ ワイルド フィルグ ショールーム ☎03-5357-8771



12.

カラフルな眼鏡で新しい私と

いつもは掛けないようなカラフルな色の眼鏡を掛けると新たな自分を発見するかも。
 眼鏡もサングラスも洋服もメイクも、色で遊んで気分もハッピーに。

サングラスBuddyOptical「Sorbonne Col.blue」価格2万9700円
 BuddyOptical、シアープリーツワンピース(インナー付き)価格1万4300円、ショートパンツ価格1万2100円
 メゾンスペシャルメゾンスペシャル 青山店 ☎03-6451-1660、バックプリーツワンピース価格5万5000円
 ウェルダール ☎info@wellder.jp



†RIGARDS

ヴィンテージのような質感とアーティスティックな造形が人気のリガーズ。写真は日本のアパレルブランド「ザ・ヴィリディアン」とのコラボ作だ。メビウスの帯から着想を得たラウンドシェイプに、二重構造の一山式ブリッジが面白い。付属のクリップオンを装着すると有機的なシルエットに。
[RG2021TVA]価格6万8200円©RIGARDS



18.

スペシャルな眼鏡を掛ける

他人とカブることがない斬新なデザインや、ラグジュアリーな質感。気分を高揚させてくれるスペシャルな眼鏡を掛けることは自分へのご褒美だ。ここではフランスの眼鏡デザインアワードのシルモドール受賞ブランドを中心にセレクトした。

†MASAHIROMARUYAMA

「未完成の艺术作品」をコンセプトに、実験的かつ実用的なデザインを打ち出すマサヒロマルヤマ。(上)フロントサイドがカットされた大胆な意匠。「MM-0058」価格4万9500円。(下)消しゴムで鉛筆のラインを消したイメージを表現したeraseの最新作。「MM-0060」価格6万2700円
©マサヒロ マルヤマ



†KUBORAUM

ドイツ語で「立方体の部屋」を意味するクボラムは、2012年にベルリンでスタートした気鋭ブランド。(上)リムレスのラウンドは万年筆のような立体的なテンプルが高級感を醸し出す。「P50」価格8万9650円。(下)アシンメトリなサングラス。「X11」価格4万5100円©EYESTYLE ASIA



†JACQUES MARIE MAGE

フランス人デザイナーのジェロム・マージュ氏がLAでスタートさせたラグジュアリーブランド。(右)特注の極厚10mmアセテート生地を採用したウェリントン。透けて見える芯金が高級感を漂わせる。「WALKER」価格8万8000円。(左)八角形のシェイプに細身のトップバーが映える。「AMBOISE」価格10万1200円©SGグローバルリンク

†tarian

巨匠アラン・ミクリの息子ジェレミー・タリアン氏が手掛けるタリアンは、2019年、2020年の2年連続でシルモドールを受賞。(写真右)ジグザグのプロウが大胆なSKY BAR。上「SMM002524」下「SMM002687」価格各5万1700円。(写真左)プロウが二重のDOUBLE JEU。「EMM021699」価格6万6000円
©トゥーランドット



65. 唯一無二。 オーダー眼鏡

自分の顔に合わせて仕立てるオーダーメイドの眼鏡なら、デザインや大きさなど、理想やこだわりを詰め込んだ世界にひとつのアイウェアを手に入れることができる。熟練の職人技を駆使して作られるオーダー眼鏡は後の人生を豊かにしてくれる幸せな1本だ。



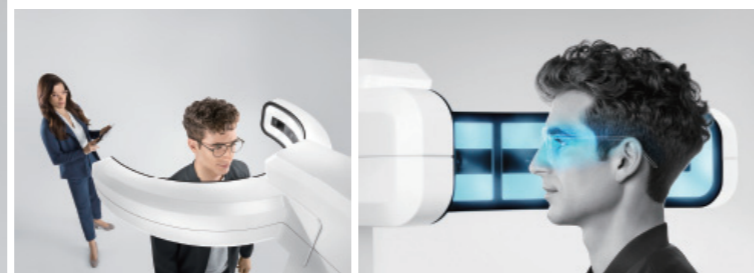
†63mokko
高度な木工技術で知られる飛騨高山で修行した木工職人の神田武蔵さんが、ブラックウォールナットなど約30種類の木から自分の顔に合わせた眼鏡をオーダーメイドで作成してくれる。温かみのある質感や柔らかな掛け心地は天然木ならではの。オーダーメイドは9万9000円～。「LC-煤竹」価格14万8500円 ㊟63mokko



63mokko
㊟東京都立川市若葉町
2-1-10
㊟13:00~17:00
㊟日・祝 ※不定休あり
㊟info@63mokko.com

66. 完全オーダーレンズの 世界へ

フレームの形状やカーブ、フィッティングの位置などを踏まえ、自分の顔や視力に合わせて設計する完全オーダーレンズは、もっとも自然でクリアな視界を実現できる究極の選択肢だ。



†ZEISS
「ZEISSフリーフォームレンズ」は、レンズの度数に加えて、使用する人の瞳孔からの距離や目とフレームの位置関係などを計算に入れて作るフルオーダーメイドレンズの最高峰だ。9台のカメラを使用する次世代測定機器で、眼鏡を掛けたときの正確なアイポイントや前傾角などを測定してからレンズを作る。㊟カールツァイスビジョンジャパン



Text/藤井たかの Takano Fujii



†The Spectacle
フルフレームではフルビュースタイルが多い中で20年代の限られた時期に作られていたサイドマウントのモデルは希少性が高い。「FF-sdmt col.YG」価格13万3100円 ㊟グローブスボックス エージェント



†The Spectacle
30年代に登場した、広い視界を確保するためにヒンジ位置を高くしたフルビュースタイル。ホワイトゴールドの輝きが美しい。「FFFV col.WG」価格7万8100円 ㊟グローブスボックス エージェント



†UNKNOWN FRAME FRANCE
1950年代当時としては珍しく、フロントのカシメに新しいデザインとして取り入れられたダイヤ型をあしらう。テンプルはストレートで顔を包み込むような掛け心地だ。「Panto」価格9万9000円 ㊟スピークウィージー



†UNKNOWN FRAME FRANCE
近年ではリプロも多いクラウンパント。そのオリジンである1940年代のフレームはテンプルに芯金を使わない製法で、生地の美しさが際立っている。「Crown Panto」価格22万円 ㊟スピークウィージー

†RAY-BAN
(BAUSCH AND LOMB)
クラシックなデザインの影響が強いレイバンにあって、1960年代に当時のトレンドを取り入れ、非常に珍しいアバンギャルドなデザインにも挑戦している。「TAMARIN」価格9万6800円 ㊟SOLAKZADE

†RAY-BAN
(BAUSCH AND LOMB)
1953~1961年までに生産された、通称ウェイファラー・ファーストはテンプルが細いのが特徴。次モデルから現行と同じ太いフレームに変更される。「WAYFARER」価格27万5000円 ㊟SOLAKZADE

64. アンティーク&ヴィンテージ という選択

第二次大戦より以前に造られたアンティークや戦後に造られたヴィンテージフレームは、その時代ごとの出来事やカルチャーを映し出す唯一無二の存在。現行品では味わえない一期一会を失われたクラフツマンシップとともに全身全霊で楽しみたい。

†RAY-BAN
(BAUSCH AND LOMB)
紫外線や気温に応じて色を変える全天候型レンズ「アンバーマチック」搭載の名機は、光学メーカーの威信を賭けて1974年に発表。「OUTDOORSMAN AMBER MATIC」価格8万4700円 ㊟SOLAKZADE

†RAY-BAN
(BAUSCH AND LOMB)
1960~70年代のトレンドを感じさせる大ぶりのラウンドで、高めに配置したブリッジのデザインがユニーク。こちらも同じくポッシュ&ロム時代のレイバン製だ。「SINTRA」価格9万6800円 ㊟SOLAKZADE



㊟SOLAKZADE

Photo/青木健格 Takenori Aoki(WPP) Text/實川治徳 Haru Jitsukawa

MARGARET HOWELL idea

マーガレット・ハウエル アイデア
クラシックな眼鏡を象徴するイメージのひとつである、キーホールデザインを施した優しい発色のアセテートフレーム。リムを全体的に細く、さらに強弱もつけることで現代的なフォルムに仕上げている。さらに、蝶番の部分などパーツ類はチタンで統一することで、軽量性とフィット感も重視。口吻離れや腐食の心配がない、長く愛用できる設計になっている。
◎アトラクト



「MHP 002 Col.KH」 価格 2万8600円



「MHP 001 Col.BE」 価格 2万8600円

Attract
アトラクト

アトラクトらしい細部までこだわったチタンとアセテートのコンビネーション。立体的なカッティングを施したアセテート生地や、蝶番やクリングス留めなどオリジナルパーツならではの滑らかさが、上質感を際立っている。特に興味深いのは、細いテンプルやリムに描かれた細かい模様。特殊な印刷技術を用いており、指で触れるとプリントの凹凸を感じる。
◎アトラクト



「APC1418 Col.BKD」 価格 4万5100円



「APC1419 Col.GNM」 価格 4万2900円

Face Fonts.
フェイスフォント

切り替え部分の抜け感が面白い上下セパレートデザインのフレームをブラッシュアップ。上下でカラーを分割し、ブリッジラインで色の重なりを作りながら立体感を出している。ヨロイ部分に切り欠きを入れ、フロントに傾斜をつけられるようにしたのもポイント。ちなみに今期から、モデル名が実在のフォント名にちなんだものになっている。
◎タナカフォーサイト



「Franklin Col.02」 価格 3万6300円



「Brandon Col.04」 価格 3万6300円

OTO
オト

フロントベースを、プレス加工によって1枚で仕上げたメタルフレーム。複数回のプレス加工によりエッジに丸みを持たせ、冷たく固くなりがちなメタルの印象をやわらげているので、セミフォックスのフロントもやさしく上品な雰囲気仕上がり。ちなみに今回のモデルから、「月音」「千音」といった「音」のつくネーミングを採用している。
◎タナカフォーサイト



「Chinon Col.01」 価格 4万6200円



「Tsukine Col.01」 価格 4万6200円

BOSTON CLUB
ボストンクラブ

「MIX CULTURE」をシーズンテーマに、ヴィンテージ、ヒップホップ、アメトラ、フレカジなど多様な90'sのユースカルチャーを眼鏡にフィーチャーしているボストンクラブ。トレンドのクリア感や多角形フロントなどを取り入れつつ、当時のテイストをモダン化した絶妙なさじ加減によって、単なる懐古主義には陥らない温故知新なコレクションを魅せている。
◎グロス銀座



「CHRIS Col.03 Demi Gold」 価格 2万8600円



「STEVE Col.02 Demi」 価格 3万800円

Y's
ワイズ

ファッションブランド「ワイズ」初のアイウェアとして2020年にデビューした。今回も前コレクションを継承し、極細のβチタンテンプルを採用したしなやかな掛け心地と、シンプルながらも主張のあるシルエット。定番のポストンやラウンドシェイプだけでなく、個性派のサーモントやオクタゴンシェイプも「ワイズ」流にアレンジされている。
◎モンドティカジャパン



「81-0009 Col.2」 価格 2万9700円



「81-0011 Col.3」 価格 2万9700円

ANNASUI
アナスイ

1970年代にNYのアンダーグラウンドシーンに進出し、今なお世界中で愛され続けるファッションデザイナー「アナスイ」の世界観を表現した眼鏡コレクション。全体的に細くゆったりとしたサイズ感で時代の流れに乗りつつも、ブランドアイコンである蝶やバラのパーツを配置。ピンクやパープルを基調としたカラーリングも「アナスイ」らしい。
◎モンドティカジャパン



「60-9014 Col.02」 価格 1万9800円



「60-9017 Col.02」 価格 1万9800円

JUST WEAR IT!

ラストは国内外全46ブランドの新作アイウェアからHAPPYをお届け。旬の多角形フォルムや繊細なコンビネーションフレーム、今期トレンドのクリアなアセテートなど、2021年春夏のアイウェア潮流がまるっとわかる!

Photo/青木健格 Takenori Aoki (WPP) Text/小堀真子 Mako Kobori

JILL STUART
ジルステュアート

コレクションテーマは「Sweetness やわらかく、やさしく」。透明感のあるカラーリングと優しい印象のなかに、フレグランスボトルやコスメのパッケージからヒントを得たモチーフを取り入れている。右のコンビネーションフレーム「05-0839」は、従来アセテートより軽く縮みにくいフレクサテート材をフロント材として初採用。掛け心地がより軽くなった。
◎村井



「05-0230 Col.02」 価格 1万9800円



「05-0839 Col.03」 価格 1万9800円

agnes b.
アニエスベー

「フレンチシック」のコンセプトのもと、パリジェンヌのようなミニマルなセンスを眼鏡に表現。アイコンであるリザードモチーフをモダンエンドにあしらっている。右の「50-0073」はラウンドポストのシェイプにバックリムがプラスされた、やや立体的なシルエットが特徴的。サイドから見えるツートンカラーも楽しめて、さりげない個性を漂わせる。
◎村井



「50-0069 Col.02」 価格 2万3100円



「50-0073 Col.01」 価格 2万3100円

Published by**WORLD PHOTO PRESS**

Publisher of Mono magazine,
World Wristwatch, Figure Oh,
Mode Optique, and World Mook series.

Head Office Location

3-39-2 Nakano, Nakano-ku,
Tokyo 164-8551 JAPAN

Editorial Department

Tel: 03 (5385) 5666
Fax: 03 (5385) 5617

Sales Department

Tel: 03 (5385) 5701
Fax: 03 (5385) 5703

Publisher

Kesaharu Imai

Editor

Kaoruko Matsuzaki

Staff Photographer

Tomoaki Tsuruda
Takenori Aoki

Designer

BASE

Advertising Director

Kazuo Tsuboi

Production Director

Shunsuke Ogawa

Circulation Manager

Hiroshi Sasagawa

DTP

BASE

Nagi

Print

Dai Nippon Printing Co., Ltd

**Correspondent Washington, D.C. Bureau
(Pictorial Press International)**

Mikako Burks

ワールドフォトプレスの出版物は
インターネットでもご注文いただけます。

monoshop.biz

ワールドフォトプレス総合サイト
「モノ・マガジンweb」

monomagazine.com

WORLD **M**OOK

ワールド・ムック1249

MODE OPTIQUE

モード・オプティーク
Vol.51



令和3年7月15日発行

発行人 ● 今井今朝春

編集人 ● 松崎薫子

発行所 ● 株式会社ワールドフォトプレス

〒164-8551 東京都中野区中野3-39-2

編集部 ● TEL 03(5385)5666 FAX 03(5385)5617

広告営業部 ● 03(5385)1350 03(5385)1348

販売部 ● 03(5385)5701 03(5385)5703

印刷所 ● 大日本印刷株式会社

© WPP 2021 (禁・無断転載)

【お詫びと訂正】

『モード・オプティーク』Vol.50におきまして下記の誤りがありました。
P19 「1996年創刊モード・オプティーク 時代を遊んでみよう」で掲載しました商品で、999.9の初期モデルとして掲載したメガネフレームが間違っておりました。P21 同企画のayameの「ジバンギK18」の正しい価格は74万8000円でした。
読者並びに関係者の皆様に多大なご迷惑をおかけいたしました。
ここに訂正し、心よりお詫び申し上げます。

●造本には充分注意しておりますが、万一、落丁・乱本などの不良品がありましたら小社【販売部】宛にお送りください。送料小社負担にてお取り替えいたします。

●本誌掲載記事の無断転載、複製、転写を禁じます。*本文中の価格は消費税(10%)込みの総額表示です。*本誌に掲載されている商品、価格、問い合わせ先は2021年5月現在の調べによるものです。